

授業科目名	医療知識Ⅲ		科目コード	202014		
開講クラス	医療事務科	コース	総合コース	学 年	1 年	
担当教員	西岡 明子		実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )			
	実務経験内容 病院に6年間勤務し、主に看護業務に従事 実務経験を活かし、解剖学・生理学など医学の基礎知識を理解させる授業を行う					
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	30時間		
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必修		単 位 数	1 単位		
使 用 テキスト 1	書 名	医療秘書医学シリーズ 基礎医学				
	著 者	小泉 憲司・矢澤 華子 共著				
	出版社	建帛社				
使 用 テキスト 2	書 名	ぜんぶわかる 人体解剖図				
	著 者	坂井 建雄・橋本 尚詞				
	出版社	成美堂出版				
参考図書	公費負担医療の実際					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習					
<授業の目的・目標> ・医療事務者として一定の医学的専門知識と、その知識を活かした保険請求能力を身に付けることを目的とする。 ・メディカルクラーク試験、医療秘書検定試験2級合格を目標とする。						
<授業の概要・授業方針> ・医療事務者として保険請求の際にカルテを読み解き、内容を理解することは重要であるため、医療現場での話など身近な話題、経験談も導入し授業を行う。 ・解剖生理の知識を習得し、一般的な疾病等について、臓器、組織障害のかかる原因、症状について知識を身につける ・医学用語及び簡単な医学英語、看護用語について学び、カルテの内容を理解できるようになる。						
<成績基準・評価基準> ・成績基準 優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：59点以下 ・評価基準 ①小テスト、授業態度、提出物：20% ②期末試験：80%						
<使用問題集・注意事項> ・医療秘書検定試験2級 過去問題集						
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> ・関連科目 「医療事務」、「医師事務作業補助」						

授業科目名		医療知識Ⅲ	
回	授業内容		備考
1	総論	病理学の領域	
2		細胞・組織とその障害	
3		再生医療における肝細胞とiPS細胞	
4		再生と修復	
5		循環障害	
6		循環障害	
7		炎症	
8		免疫とアレルギー	
9		免疫とアレルギー	
10		感染症	
11		代謝異常	
12		老化と老年病	
13		新生児の病理	
14		先天異常	
15		腫瘍	
16		腫瘍	
17		生命の危機	
18	各論	循環器	
19		呼吸器系	
20		歯・口腔系	
21		消化器系	
22		内分泌器系	
23		造血器系	
24		腎・尿路系	
25		生殖器・乳腺	
26		脳・神経系	
27		運動器系	
28		感覚器系（眼・耳・気道・皮膚）	
29		病理診断検査	
30		まとめ	